

CONTENTS

- 01 ■次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定  
02 ■NEWS&TOPICS ■子育てコラムリレー

## 次世代育成支援対策推進法

### 「一般事業主行動計画（第4期）」を策定しました。

一般事業主行動計画とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、企業が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などを行うために策定する計画です。

信州大学では、職員がその能力を十分に発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定しました。

#### 計画期間

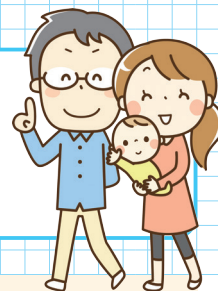
令和2年4月1日～令和4年3月31日

#### 目標1

計画期間内に育児休業の取得状況を次の水準以上とし、達成した場合は同水準の維持に努める。

男性職員：計画期間内に3人以上取得すること。

女性職員：取得率を80%以上とし、希望者全員が取得できる環境とする。



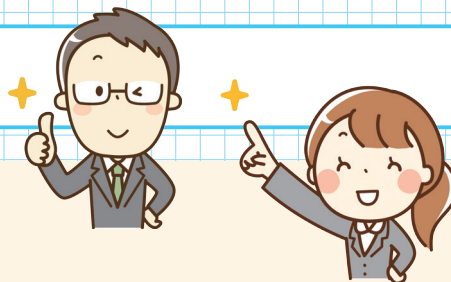
#### 対策

令和2年4月～

妊娠、出産、産後期に取得可能な休暇、男性の子育て目的の休暇等を学内報等で周知・啓発し、職場内での理解を深めることで、希望者が取得しやすい環境を整備する。

#### 目標2

仕事と生活の両立のため、働きやすい雇用環境を整備する。



#### 対策

令和2年4月～

- 「ノー残業デー」を継続し、実施日の増加について検討する。
- 学内における会議等について、所定勤務時間内に開催することを周知徹底する。
- 年次有給休暇等を取得しやすい職場環境を構築するため、年次有給休暇の計画的付与制度の導入、特別休暇の適用対象者の見直し、取得促進のための定期的な学内周知、意識啓発活動を実施する。
- ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催し、働き方に対する意識啓発を実施する。
- 引き続き男女共同参画推進センター及びイコール・パートナーシップ委員会と連携し、情報提供・研修を実施する。

## 令和2年度(4-9月期)研究補助者制度の利用者が決定しました

本学の研究者が育児や介護等のライフイベントと研究活動を両立できるよう、令和2年度(4-9月期)も研究補助者制度の利用希望者を募集し、厳正な審査の上、利用者を決定しました。

**選考結果 利用者13名(女性12名、男性1名)**

この制度は、年2回の募集を行っています。今回は令和2年7月中旬ごろを予定しています。なお、急遽介護が必要になった場合など、突発的な事態が生じた場合は、申請時期でなくても受付できますので、まずは男女共同参画推進センターまでご相談ください。



### これまでの利用者の感想(実績報告書より抜粋)

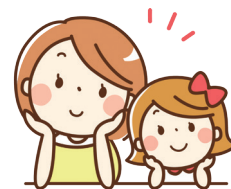
- 研究活動を行いながら家庭で子どもと過ごす時間もとることができ、効果的に時間を使うことができるようになった。
- 本制度の利用により、これまで思うように確保できなかった研究時間を増やすことができ、日常の教育・研究をより充実させることができた。
- 研究補助者として雇用した学生にデータの扱い方など、卒論で生かすことができるような技能を身につけさせることができた。

## 大学入試センター試験における一時保育を実施しました

令和2年1月18日、19日に実施された大学入試センター試験において、松本キャンパスと長野(教育)キャンパスで一時的保育を実施しました。

### 利用者数(延べ人数)

- 松本キャンパス 教職員1名 子ども2名
- 長野(教育)キャンパス 教職員3名 子ども4名



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

待望の長男が誕生してから早1年半の月日が経ちました。ボール遊びが大好きで、公園ではボールを抱えて縦横無尽に走り回る、元気な子に育っています。

昨年11月から、妻も仕事に復帰し、息子はおひさま保育園にお世話になっています。妻に任せきりであった家事や育児にも出来る限り協力するよう努めており、忙しい日々を過ごしています。息子が起きている時間に帰宅する事は難しいため、少しでもスキップを取れるよう、保育園の送りは自分が担当するようにしています。その甲斐あってか、今のところ父親として認識される事に成功しています。

最近では息子の食事を作る事も多くなりました。喜んで食べてくれた時は大変嬉しく、食が進まない時



たか はし よし ゆき  
**高橋 芳之 先生** | 医学部附属病院 消化器内科 医員



### 家族構成

妻、長男(1歳6カ月)

### あなたのリラックス方法は？

息子との入浴

はあれこれと思い悩む事もしばしばです。たくさん野菜を食べて欲しいと、体に良さそうな野菜を思い付く限り入れるようにしています(カレーが万能である事を今更ながら実感しました)。息子の食事を作るようになって、母の料理にやたらと野菜が入っていた理由に気付かされました。親の心、子知らずとはよく言ったものですね。

至らない点ばかりですが、これからも育児を通して、父として人間として成長出来るよう頑張りたいと思います。



### 次回はこれの方!

錦織 祐美子 副看護師長  
医学部附属病院 入退院支援室

お問い合わせ  
**信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)**

〒390-8621 松本市旭 3-1-1  
内線 811-2150, 811-2140  
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314  
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室  
〒380-8544  
長野市西長野 6-1  
内線 831-4018

工学部分室  
〒380-8533  
長野市若里 4-17-1  
内線 821-5693

農学部分室  
〒399-4598  
上伊那郡南箕輪村 8304  
内線 851-3120

繊維学部分室  
〒386-8567  
上田市常田 3-15-1  
内線 841-5031

信州大学 スフレ

検索

